

結果の概要

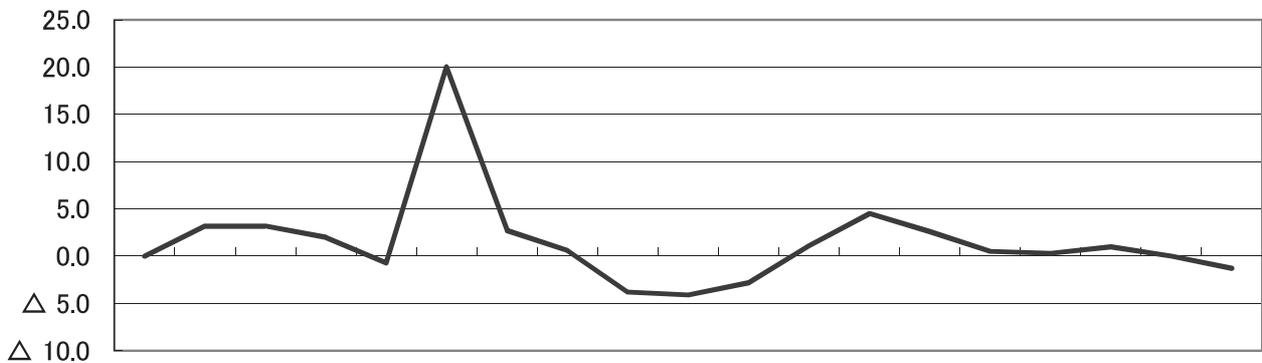
1. 総人口

平成22年10月1日現在の出雲市人口は171,485人です。前回調査（平成17年）と比較すると、2,266人（1.3%）減少しています。

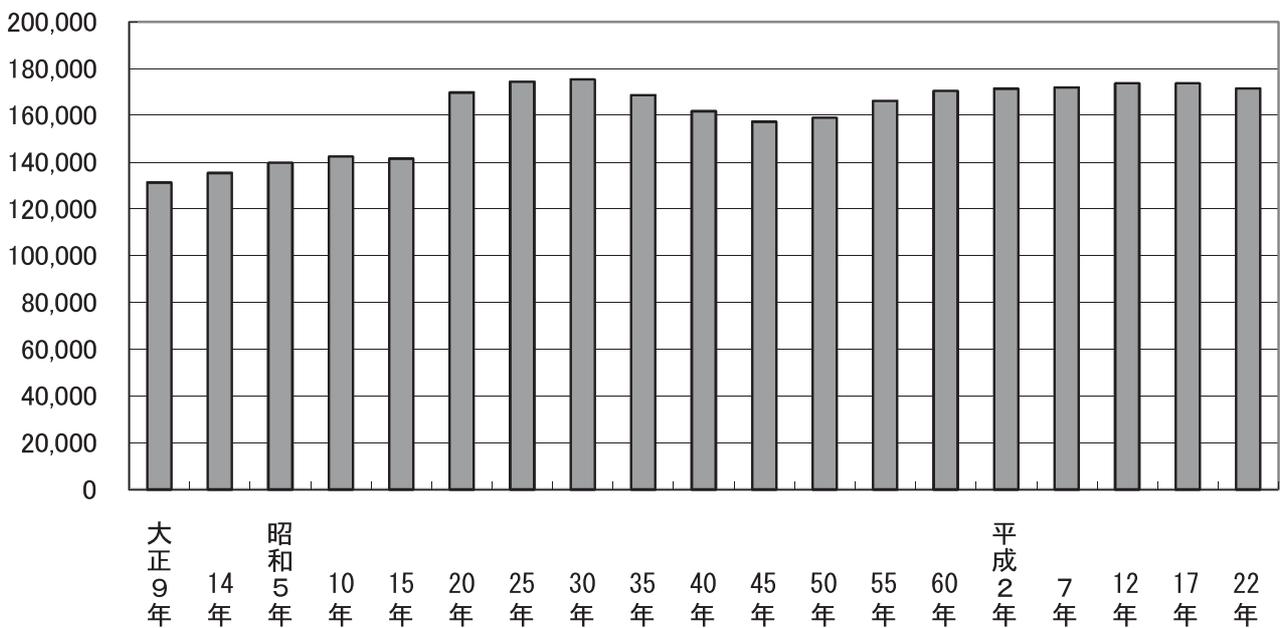
大正9年の第1回国勢調査時には、現市内区域の人口は131,256人で、以降増加傾向が続いていました。昭和30年調査では17万5千人を超えましたが、その後高度経済成長に伴う先進工業地域への人口流出などにより、昭和35年から昭和45年にかけて減少しました。

昭和50年からは、地方の企業誘致による全国的なUターン現象や島根医科大学（現島根大学医学部）・県立看護短期大学（現島根県立大学短期大学部出雲キャンパス）の開学、住宅団地の開発などにより再び増加に転じ、昭和60年調査では再び17万人を突破しました。人口減少の著しい島根県にあって、平成2年調査からほぼ横ばい状態が続いています。

グラフ1 人口増減率の推移（%）



人口（人）



地区別人口をみると、塩冶地区が14,748人で最も多く、市全体の8.6%を占めています。平成17年と比較して増加率が一番高かったのは直江地区の9.6%で、5年間で317人増加という伸びを示しています。以下川跡地区(8.7%)、伊波野地区(5.2%)、高浜地区(4.9%)、神門地区(3.9%)の順となり、11地区が増加しています。

一方、減少した地区(地域)をみると、平成17年と比較して日御碕地区が16.2%の減少率となっています。このほか、山間部での人口減少傾向が続いています。

表1 地区別人口と増減率

単位:人、%

地区	人口			増減率	
	平成22年	平成17年	平成12年	平成22/平成17	平成17/平成12
総数	171,485	173,751	173,776	△ 1.3	0.0
出雲地域	89,020	88,805	87,330	0.2	1.7
今市	6,470	6,515	6,383	△ 0.7	2.1
大津	9,433	9,555	9,979	△ 1.3	△ 4.2
塩冶	14,748	15,204	15,104	△ 3.0	0.7
古志	2,133	2,280	2,333	△ 6.4	△ 2.3
高松	9,666	9,381	9,143	3.0	2.6
四絡	10,678	10,401	9,583	2.7	8.5
高浜	3,622	3,452	3,421	4.9	0.9
川跡	8,988	8,265	7,731	8.7	6.9
鳶巣	1,539	1,573	1,561	△ 2.2	0.8
上津	1,397	1,498	1,580	△ 6.7	△ 5.2
稗原	1,952	2,048	2,143	△ 4.7	△ 4.4
朝山	1,915	2,062	2,182	△ 7.1	△ 5.5
乙立	711	782	870	△ 9.1	△ 10.1
神門	7,195	6,924	6,540	3.9	5.9
神西	3,702	3,782	3,642	△ 2.1	3.8
長浜	4,871	5,064	5,124	△ 3.8	△ 1.2
平成	-	19	11	-	72.7
平田地域	26,908	28,071	29,006	△ 4.1	△ 3.2
平田	6,886	7,052	7,169	△ 2.4	△ 1.6
灘分	3,691	3,864	3,826	△ 4.5	1.0
国富	2,878	2,856	2,827	0.8	1.0
西田	1,891	1,884	1,899	0.4	△ 0.8
鱒淵	720	771	850	△ 6.6	△ 9.3
久多美	2,424	2,547	2,622	△ 4.8	△ 2.9
楡山	1,448	1,540	1,649	△ 6.0	△ 6.6
東	2,604	2,754	2,933	△ 5.4	△ 6.1
北浜	1,276	1,416	1,535	△ 9.9	△ 7.8
佐香	1,639	1,852	2,067	△ 11.5	△ 10.4
伊野	1,451	1,535	1,629	△ 5.5	△ 5.8
佐田地域	3,816	4,213	4,576	△ 9.4	△ 7.9
須佐	2,112	2,334	2,599	△ 9.5	△ 10.2
窪田	1,704	1,879	1,977	△ 9.3	△ 5.0
多伎地域	3,767	3,905	4,215	△ 3.5	△ 7.4
湖陵地域	5,369	5,732	5,813	△ 6.3	△ 1.4
大社地域	14,916	15,581	16,020	△ 4.3	△ 2.7
大社	5,537	6,068	6,322	△ 8.8	△ 4.0
荒木	6,004	6,012	5,996	△ 0.1	0.3
遙堪	2,358	2,309	2,352	2.1	△ 1.8
日御碕	769	918	1,040	△ 16.2	△ 11.7
鵜鷺	248	274	310	△ 9.5	△ 11.6
斐川地域	27,689	27,444	26,816	0.9	2.3
莊原	7,233	7,332	7,462	△ 1.4	△ 1.7
出西	4,798	4,692	4,517	2.3	3.9
伊波野	5,619	5,339	4,635	5.2	15.2
直江	3,620	3,303	3,229	9.6	2.3
久木	2,366	2,487	2,485	△ 4.9	0.1
出東	4,053	4,291	4,488	△ 5.5	△ 4.4

人口の男女別をみると、男性82,089人に対して、女性は89,396人で7,307人多くなっています。人口性比(女性100人に対する男性の人数)は91.8人です。

2. 年齢別人口

人口を年齢別にみると、年少人口（15歳未満）24,402人、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）102,375人、老年人口（65歳以上）44,584人となっています。平成17年と比較して、年少人口及び生産年齢人口はそれぞれ4.8%、3.3%減少、老年人口は6.0%増加しており、少子高齢化が一段と進んでいることを示しています。

また、老年化指数（年少人口に対する老年人口比率）は182.7ポイントになりました。平成17年と比較して、18.7ポイント増加しました。県全体では224.9ポイントです。

表2 年齢(3区分)別人口

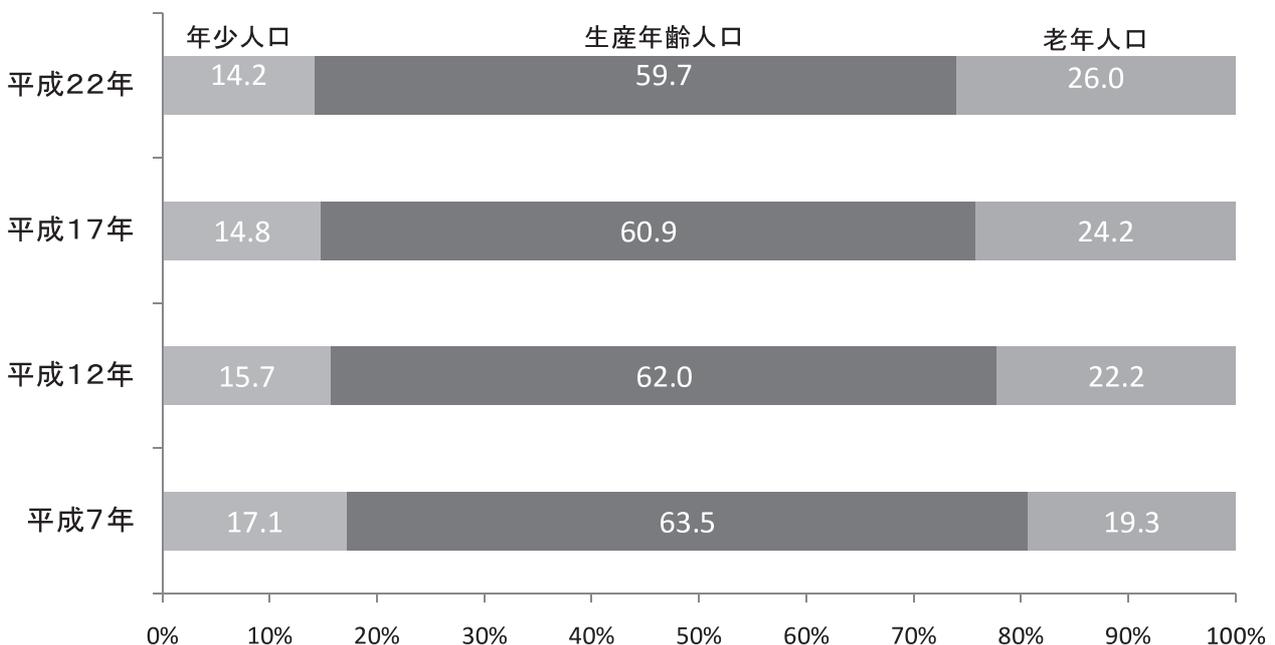
単位:人、%

地区	人口						増減率	
	平成22年		平成17年		平成12年		平成22/平成17	平成17/平成12
総数	171,485	(100.0)	173,751	(100.0)	173,776	(100.0)	△ 1.3	0.0
年少人口	24,402	(14.2)	25,633	(14.8)	27,334	(15.7)	△ 4.8	△ 6.2
生産年齢人口	102,375	(59.7)	105,863	(60.9)	107,782	(62.0)	△ 3.3	△ 1.8
老年人口	44,584	(26.0)	42,050	(24.2)	38,599	(22.2)	6.0	8.9

(注)総数には「年齢不詳」を含む。

年少人口指数（生産年齢人口に対する年少人口比率）は23.8ポイント、老年人口指数（生産年齢人口に対する老年人口比率）は43.5ポイントになっています。

グラフ2 年齢(3区分)別人口構成比の推移



年齢別人口の割合を地区別にみると、年少人口は四絡地区17.4%、川跡地区17.2%、伊波野地区16.3%など、人口の増加している地区が高くなっています。逆に、人口が減少している日御碕地区7.4%、鵜鷺地区7.7%、佐香地区8.7%などでは、割合が低くなっています。

老年人口の割合は、鰐淵地区39.4%、日御碕地区39.7%、西田地区36.7%、窪田地区36.4%で、鵜鷺地区では57.7%と、特に高い数値を示しています。

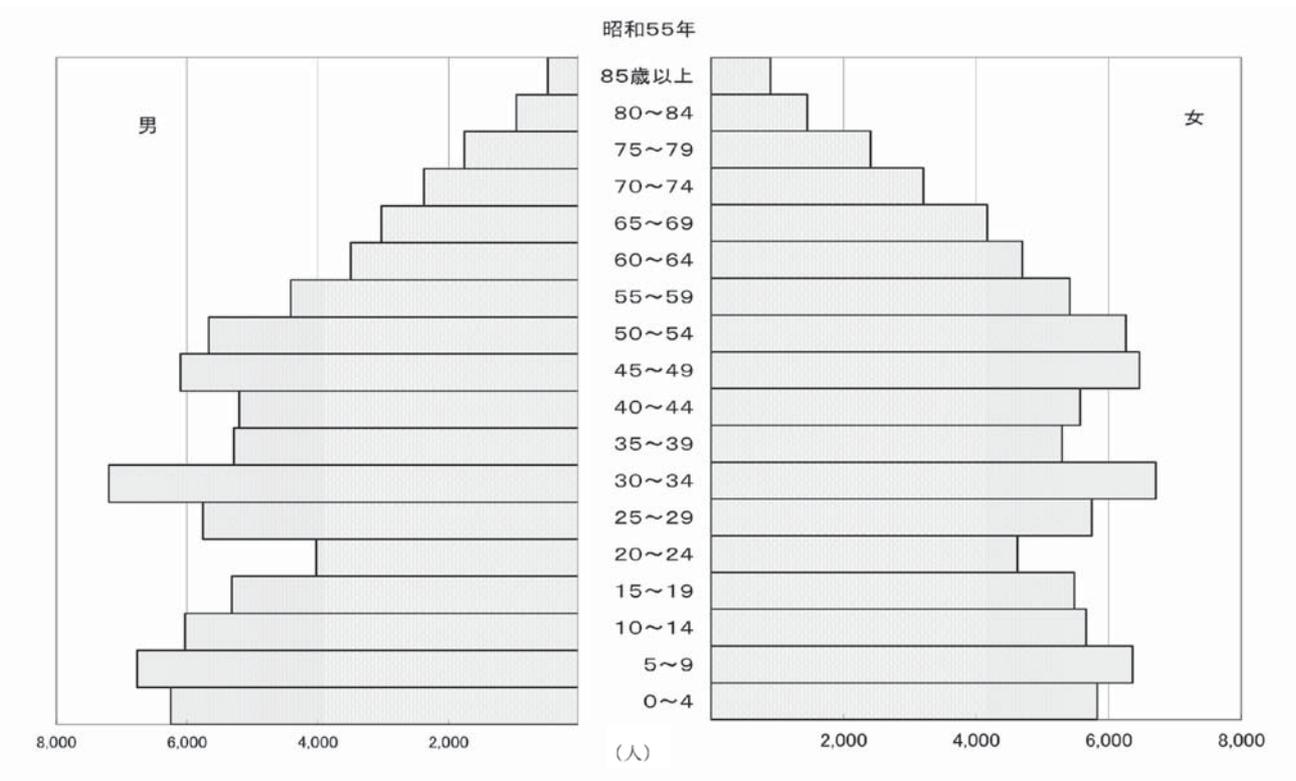
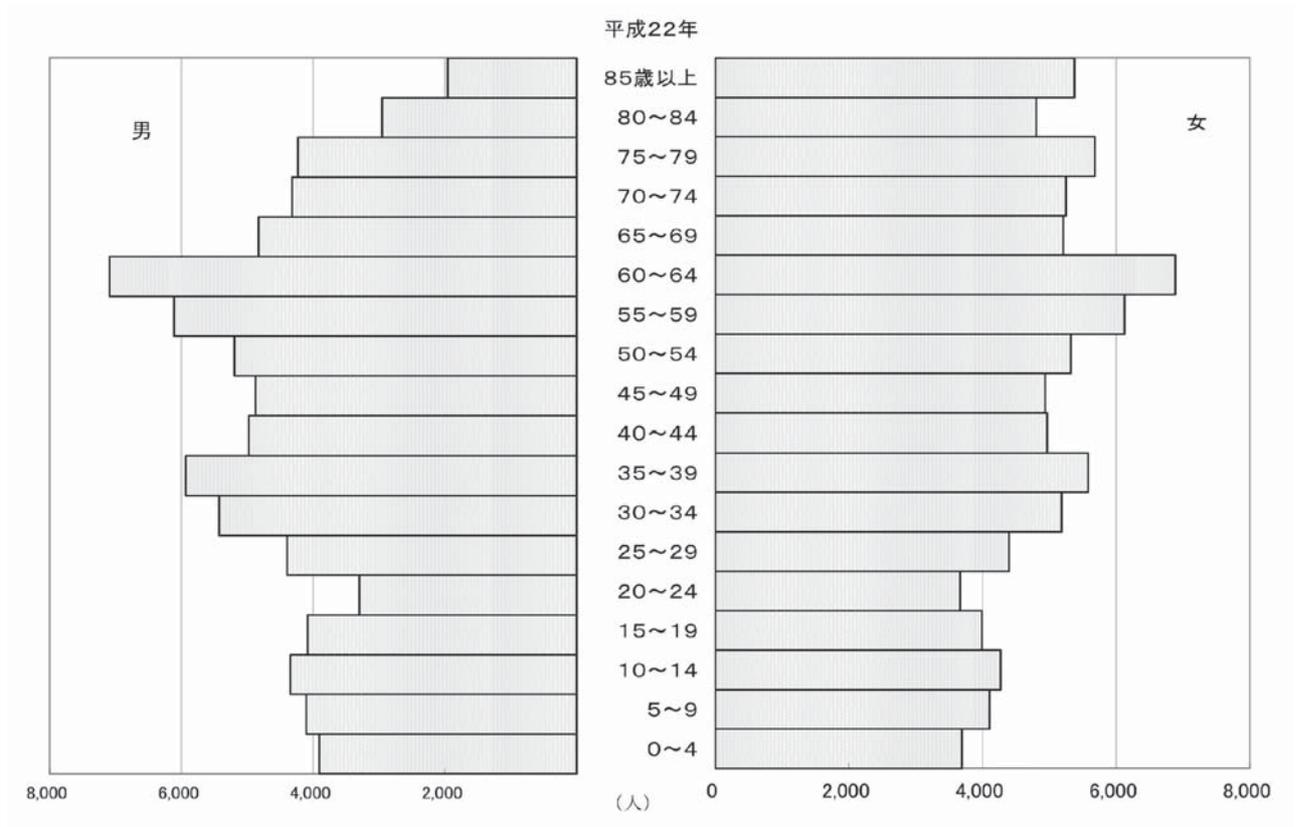
表3 地区、年齢別(3区分)別人口の割合

単位: %

地区	総数(人)	年少人口比率	生産年齢人口比率	老年人口比率
		(15歳未満)	(15歳～64歳)	(65歳以上)
総数	171,485	14.2	59.7	26.0
出雲地域	89,020	15.2	61.3	23.5
今市	6,470	13.2	58.7	28.0
大津	9,433	14.6	58.4	27.0
塩冶	14,748	15.0	65.2	19.8
古志	2,133	12.8	56.7	30.4
高松	9,666	16.1	63.1	20.9
四絡	10,678	17.4	63.1	19.5
高浜	3,622	14.4	60.2	25.3
川跡	8,988	17.2	65.1	17.6
鳶巣	1,539	14.2	57.9	27.9
上津	1,397	11.6	57.6	30.8
稗原	1,952	10.7	56.4	32.9
朝山	1,915	13.4	56.0	30.7
乙立	711	12.1	51.8	36.1
神門	7,195	16.1	60.2	23.6
神西	3,702	14.8	59.8	25.4
長浜	4,871	13.4	58.0	28.7
平成	-	-	-	-
平田地域	26,908	12.9	58.4	28.7
平田	6,886	13.6	58.3	28.1
灘分	3,691	15.3	58.5	26.3
国富	2,878	14.6	58.8	26.6
西田	1,891	11.3	52.0	36.7
鰯淵	720	11.4	49.2	39.4
久多美	2,424	14.0	61.8	24.3
桧山	1,448	12.4	60.8	26.8
東	2,604	12.3	60.9	26.8
北浜	1,276	10.1	54.7	35.2
佐香	1,639	8.7	57.8	33.5
伊野	1,451	10.9	61.8	27.4
佐田地域	3,816	10.6	53.7	35.7
須佐	2,189	10.6	54.2	35.2
窪田	1,627	10.4	53.2	36.4
多伎地域	3,767	11.7	55.1	33.2
湖陵地域	5,369	13.1	57.2	29.7
大社地域	14,916	12.2	55.1	32.7
大社	5,537	10.7	53.5	35.8
荒木	6,004	14.0	57.4	28.5
遙堪	2,358	12.8	55.9	31.2
日御碕	769	7.4	52.9	39.7
鵜鷺	248	7.7	34.7	57.7
斐川地域	27,689	14.7	60.1	24.8
荘原	7,233	14.3	59.4	26.3
出西	4,798	14.7	60.0	25.2
伊波野	5,619	16.3	63.3	19.2
直江	3,620	15.1	58.8	25.4
久木	2,366	14.8	59.3	25.8
出東	4,053	12.7	58.8	28.5

(注) 総数には「年齢不詳」を含む。

グラフ3 人口ピラミッド

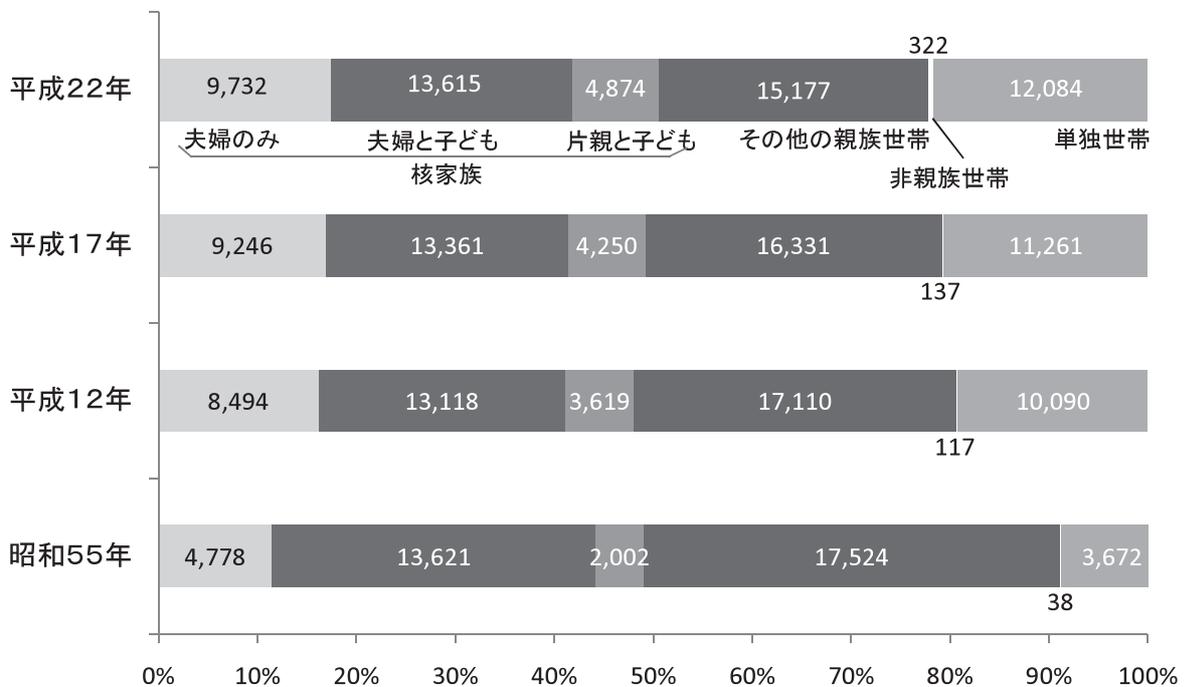


3. 世帯数

出雲市の総世帯数は55,952世帯で、平成17年と比較すると、1,268世帯（2.3%）増加しています。そのうち、一般世帯数は55,805世帯です。一般世帯の1世帯あたり世帯人員は平成17年と比較すると0.12人減少し、3.00人でした。

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯数は28,221世帯で、平成17年から5.1%増加し、一般世帯の50.6%を占めています。また、単独世帯数が12,084世帯と一般世帯の21.7%を占め、増加してきています。

グラフ4 一般世帯の家族類型別割合の推移



4. 65歳以上世帯員のいる世帯

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は27,935世帯で、一般世帯の50.1%を占め、平成17年から4.5%増加しています。

65歳以上の高齢者単身者数は3,832人で、平成17年から16.0%増加しており、高齢者世帯が増加の一途をたどっています。

表6 世帯人員(7区分)別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上世帯人員

単位:世帯、人

区分	総数	世帯人員 1人	世帯人員 2人	世帯人員 3人	世帯人員 4人	世帯人員 5人	世帯人員 6人	世帯人員 7人以上
65歳以上世帯員のいる一般世帯数	27,935	3,832	7,635	5,128	3,782	3,048	2,559	1,951
一般世帯人員	167,584	12,084	27,618	32,400	34,836	24,655	19,188	16,803
65歳以上世帯員人員	41,713	3,832	12,158	7,922	5,527	4,536	4,278	3,460

表7 年齢(5歳階級)、男女別高齢単身者数

単位:人

区分	総数	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85歳 以上	60歳 以上
65歳以上の高齢単身者数	3,832	728	790	911	806	597	4,802
男	973	270	224	212	155	112	1,511
女	2,859	458	566	699	651	485	3,314

表8 夫の年齢(7区分)、妻の年齢(7区分)別60歳以上夫婦のみの世帯数

単位:世帯

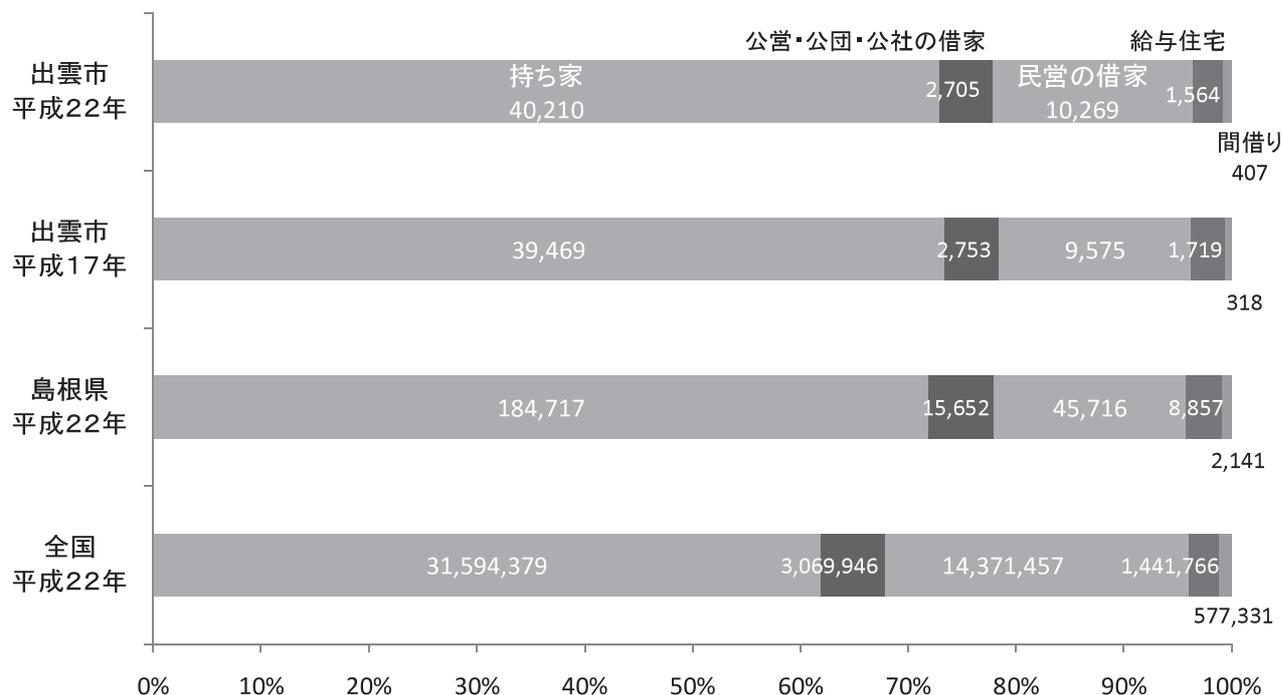
夫/妻の年齢 (5歳階級)	妻が60歳以上							妻が 60歳未満	
	総数	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85歳 以上		
総数	6,067	1,619	1,453	1,380	1,038	435	142	762	
夫が 60歳 以上	夫が60～64歳	881	817	53	8	1	2	659	
	65～69歳	1,411	700	629	72	9	1	87	
	70～74歳	1,434	86	658	607	79	3	12	
	75～79歳	1,343	13	105	603	572	47	3	
	80～84歳	692	2	8	81	349	234	18	3
	85歳以上	306	1	—	9	28	148	120	—
夫が60歳未満	100	88	6	4	2	—	—	—	

5. 住 宅

住宅に住む一般世帯数は55,155世帯で、そのうち持ち家に住む世帯数が40,210世帯と最も多く、72.9%を占めています。持ち家の割合は減少してきており、今回も平成17年と比較して0.4ポイント下がっています。逆に民営の借家に住む世帯数は10,269世帯（18.6%）で、割合が高くなっています。

持ち家に住む世帯の割合は、全国平均の61.9%と比べると11.0ポイント高く、島根県全体の71.9%よりも高い比率になっています。

グラフ5 住宅に住む一般世帯の所有関係別割合の推移



6. 労働力人口

15歳以上人口146,959人のうち、労働力人口（就業者と完全失業者数）は89,407人で、平成17年から2.9%減少しました。なかでも、完全失業者数が6.1%（男性3.1%、女性12.0%）と減少しています。

また、労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）は60.8%です。男性が71.5%に対して、女性は51.3%になっています。

また、65歳以上の就業者は10,180人で、労働力人口の11.4%を占めています。

表9 労働力状態(3区分)、男女別15歳以上人口

単位:人

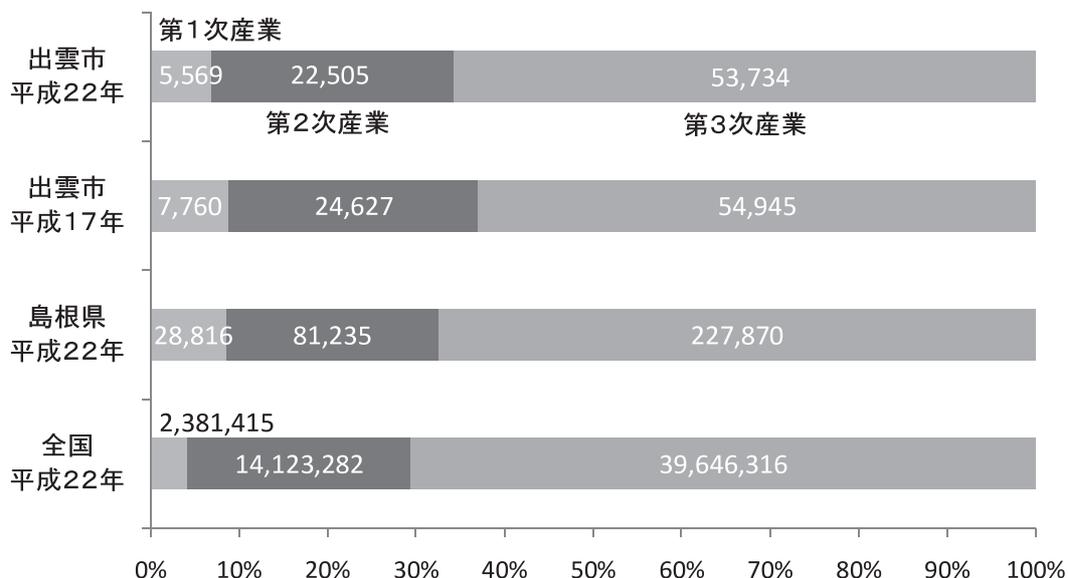
労働力状態(3区分)	平成22年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口	146,959	69,626	77,333	147,913	70,189	77,724
労働力人口	89,407	49,749	39,658	92,043	52,227	39,816
就業者	85,555	47,121	38,434	87,939	49,514	38,425
うち65歳以上就業	10,180	6,142	4,038	10,107	6,216	3,891
完全失業者	3,852	2,628	1,224	4,104	2,713	1,391
非労働力人口	51,427	16,819	34,608	54,356	16,955	37,401
労働力率(%)	60.8	71.5	51.3	62.2	74.4	51.2

注)総数には労働力状態「不詳」を含む。

就業者数を産業3部門別にみると、第1次産業5,569人、第2次産業22,505人、第3次産業53,734人となっています。平成17年と比較して、第1次産業では28.2%(2,191人)、第2次産業では8.6%(2,122人)、第3次産業では2.2%(1,211人)減少しています。

全就業者に占める割合では、第1次産業が6.8%、第2次産業が27.5%、第3次産業が65.7%で、第1次、第2次産業の減少、第3次産業の増加傾向が続いています。

グラフ6 産業(3区分)別15歳以上就業者の割合



(注)分類不能は含まず。

就業者数を産業大分類別にみると、「製造業」14,193人(16.6%)で最も多く、以下「卸売・小売業」が13,734人(16.1%)、「医療・福祉」11,427人(13.4%)、「建設業」8,248人(9.6%)となっています。

第1次産業の90.2%を占める「農業・林業」は5,026人(5.9%)となっています。

グラフ7 産業（大分類）別15歳以上就業者の割合

